

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	第8回 姫路市地域公共交通会議陸運分科会
2 開催日時	令和元年6月24日（月曜日） 10時00分～11時30分
3 開催場所	姫路市総合福祉会館5階 第2会議室
4 出席者名	出席者 委員 浅田敦之、岩田稔恵、岩野住之、奥西良行、河内泰敏、正司健一、竹内 宏、 当舎良章、中川吉郎、濱田崇広、三輪 徹、森田玲子、妻鹿幸二、山口正樹、 山田賢一 以上15名（50音順 敬称略） オブザーバー 前羽利治、三宅豊文 事務局（交通計画室） 植田室長、苅山係長、松本係長、菊本係長、谷口主任、大西技師、井上主事 （高齢者支援課） 首藤主事
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 0名
6 議題	(1) 家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画策定について (2) 福崎町・姫路市連携コミュニティバス社会実験計画（案）について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

司 会	<p>ただ今より、「第8回姫路市地域公共交通会議 陸運分科会」を開催いたします。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議陸運分科会規約」第6条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。</p> <p>本日は、委員18名中、半数以上の15名の出席を頂いておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>また、会議は、本分科会規約第6条第4項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了解頂きますようお願いいたします。</p> <p>会議に先だちまして、今回、新たに委員となられた方々をご紹介します。</p>
司 会	<p>【新委員紹介】</p> <p>ただ今紹介させていただいた以外の皆さまにおかれましては、6月20日をもって任期が満了しておりますが、引き続き委員をお願いいたします。</p>
司 会	<p>【委嘱状及び指名書並びに任命書交付】</p> <p>委員の新たな任期の開始に伴いまして会長の選出を行いたいと思います。</p> <p>お手元の姫路市地域公共交通会議陸運分科会規約第5条第2項では「会長は、委員の互選によって定める」と定められております。選任につきまして、ご意見をお伺いしたいと思います</p> <p>これまでの組織同様、姫路市都市局長にお願いしてはどうか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
委 員	<p>それでは、本会の会長には「姫路市都市局長 三輪局長」にご就任いただくことといたします。</p>
司 会	<p>では、三輪局長、お手数ですが正面の会長席へお移り頂きますようお願いいたします。</p> <p>それでは、三輪会長より会長就任のご挨拶をいただきたいと存じます。</p>

会 長	【あいさつ】
司 会	【配布資料確認】
司 会	<p>なお、会議の議長は、本分科会規約第6条第1項の規定により、会長であります姫路市都市局 三輪局長となります。</p> <p>それでは、本分科会規約第6条の規定により、以後の会議の進行につきまして、会長、よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは、会議次第「3 審議事項」の「(1) 家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【事務局説明】</p> <p>(議題1)</p> <p>「(1) 家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画策定について」</p>
議 長	<p>ただ今、事務局より説明のありました議題1につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>家島のコミバスについて、午前中に老人福祉センターを通るルートは、午後の2便がなくなり、午前中に回してもらったのか。坊勢のコミバスについて、木曜と土曜は午前中のみ運行し午後は休みだが、病院へ行く以外にも利用があると思われるため、午後も運行してもらいたい。また炭焼の停留所が増えた件についても地元へ報告しておく。</p>
事 務 局	<p>坊勢については、木曜と土曜のみ午前運行、その他は一日運行している。運行当初は木曜の午後は運行し、土曜日は運行していなかった。しかし木曜の午後はぼうぜ医院が休診しており、コミバスの利用者が少なかったため、振り替えるような形で土曜日の午前中に運行することとなった。今回の意見については、定期的で開催している運転者連絡会議や地元自治会等とも協議の上、検討</p>

	<p>していきたい。</p> <p>補足として資料P22に坊勢コミュニティバスの利用実績を記載している。平成30年10月にぼうぜ医院が開院して以降、利用者が増えている。今年度については50人/日以上利用している。木曜と土曜の午後運行については、需要を見極め、検討していきたい。</p>
委 員	<p>炭焼の延伸以外に今後もこのような延伸の計画はあるのか、道路の幅員等のルールを定めて進めているのか。</p>
事 務 局	<p>延伸の計画に対して道路の幅員を確保する等のルールはない。今回の延伸に際しては坊勢で運行するコミバス車両は2,000ccのミニバンタイプであり、現況確認をしたところ問題はなかった。今後コミバス延伸の希望があった場合、延伸先の道路幅員や延伸することによりどの程度迂回が生じるかの現況確認を行い、また定期船との発着時間等も考慮した上で検討していきたい。</p>
委 員	<p>家島コミバスの乗車人員が年々減っているが、人口が減少しているからか。坊勢コミバスは平成28年度に比べ平成30年度の乗車人員が増加しているが、観光客が利用しているからか。</p>
事 務 局	<p>坊勢島内唯一のぼうぜ医院が、平成30年10月に山の中腹部に移転した。もともと徒歩で通院していた方が、ぼうぜ医院の移転に伴いコミバスを利用するようになった。家島地域については、非常に人口が減少している。運転員連絡会議において、平成24年の運行開始時から利用者が変わっているかヒアリングを行った。福祉施設へ入所し、コミバスに乗れなくなったり、人口減少により新規利用の方も増えていない状況であると考えている。老人会を通じて新たな利用者層の確保に向けPRを行っている。</p>
委 員	<p>地域内フィーダー系統補助申請書ですが、6月中に提出するようお願いしているが、令和2年度補助金算定式上限額等や申請書の詳細な様式が国土交通省内で決定していない。昨年度から大きな変更はないと思われるが、補助金の予算が少し増額している。承認された後に軽微な変更事項が生じた場合、新様式</p>

議 長	<p>で申請書を作成する必要がある場合は、事務局一任でお願いしたい。</p> <p>今後軽微な変更等があった場合は、事務局一任としていただきたい。</p> <p>他に何かご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、議題1についてお諮りします。</p> <p>原案どおり承認してよろしいか。</p>
委 員	<p>異議なし</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題1について、原案どおり承認といたします。</p> <p>次に、会議次第「3審議事項」の「(2) 福崎町・姫路市連携コミュニティバス社会実験計画（案）について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【事務局説明】</p> <p>（議題2）</p> <p>「(2) 福崎町・姫路市連携コミュニティバス社会実験計画（案）について」</p>
議 長	<p>ただ今、事務局より説明のありました議題2につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>既存の路線バスやタクシー等との競合はどうなっているのか。</p>
事 務 局	<p>路線バスとは運行ルートが一部重なっている。タクシー事業者については、溝口駅に1社あるが、事前に事業者と運行について協議を行った。現行の路線バスは便数が少なく、かつコミバスは当該区間を通過するだけのため、了承してもらっている。タクシー事業者については、主要な業務を行う時間を外すように運行することを協議し、了承してもらっている。</p>
委 員	<p>14人乗りで、学生向けの定期券も発行されるようだが、14人以上の方がバスに乗車を希望した場合は、立ち乗りできるのか、断るのか。車椅子の方が乗車</p>

事務局	<p>を希望した場合はどのように対応するのか。</p> <p>乗車定員を超えた立ち乗りは考えておらず、積み残しが発生する可能性がある。社会実験であるため、利用が多数ある場合は、今後増便等を検討したい。</p>
委員	<p>香寺地区では数年前にコミュニティバスを運行していたと思う。当時の経験を踏まえて、今回はどのような利用促進を働きかけているのか。</p>
事務局	<p>一番メインとなるところは、溝口ニュータウンという自治会である。約 400 戸、夜間人口 1,000 人の団地は高齢化が進んでおり、自治会自ら危機感を持ち積極的に関わりを持っている。沿線の関係する企業などには個別に時刻表を配布し、自治会にも周知を図るため、今後 8 月、9 月の運行前には集中的に周知を行いたい。</p>
委員	<p>目標利用者数について、令和元年度末 38 人/日以上、5.5 千人/年であれば稼働日が 150 日、稼働率は 10%程度と思う。令和 2 年度は 56 人/日以上、16.4 千人/年乗車、稼働日は 300 日になると思われる。どのような目標設定をしたのか。</p>
事務局	<p>姫路市では、溝口ニュータウンの夜間人口が 1,000 名であり、コミュニティバス等の導入ガイドラインの基準では夜間人口の 1%と定めているため、10 名の方が利用、往復 20 名が利用されるという目標を立てた。福崎町では、工業団地への通勤利用、一般の方の利用を踏まえて人数を設定した。</p>
委員	<p>1 便の 14 人設定では、14 人以上利用する可能性が高いと思われる。迅速に対応できるようにした方が良い。</p>
事務局	<p>社会実験は 2 年間、利用は 2 段階を想定している。今年度は、通勤利用の方が通勤方法を転換することは厳しいと考えている。令和 2 年度は 4 月の新年度に新規採用者等が利用することで増えてくると想定している。また今年度は、14 人乗り 1 台で運行するが、10 月から 3 月までの利用状況により来年度以降は</p>

委員	<p>需要に見合ったダイヤ編成や車両について検討したい。</p> <p>使用車両についてバリアフリー対応と記載されているが、どのように対応しているのか。</p>
事務局	<p>運行を担う福崎町が車両の改修を行うと聞いているが、細かい内容は把握できていない。障がい者の方の利用も想定しており、現在改修を進めている。</p>
議長	<p>本日、福崎町の担当者が出席しているため、発言を認めたい。</p>
事務局	<p>バリアフリー対応と考えているが、ノンステップ対応、床の張替えとポールの設置を行う。しかし車椅子は対応できない。</p>
委員	<p>車椅子の方は利用できないことを周知し、トラブルのないようにしてほしい。</p>
委員	<p>市内の運行エリアに姫路市の出張所は一つもないと思う。以前の社会実験時は播但線沿線をコミバスが運行したため、播但線を利用しコミバスを利用しなかった。神姫バスが撤退した香寺町田野の住民は非常に困っている。買い物や通勤も大事だが、住民票取得や期日前投票は遠方に行かないといけない。行政が市民に対し優しいと思えない、また失敗するのではないか。</p>
事務局	<p>住民に優しいということがあるべき姿と考えている。溝口ニュータウンが非常に困っているとのことで自治会と協議し、また通勤手段の確保について工業団地協議会等と協議してルートを設定した。以前のコミバスはたくさんのルートがあり、支所等へのアクセスも可能であったが、利用が思わしくなかった。今回は鉄道や路線バス等の利用の促進を図っていきたい。需要が少ない場所でも利用できるような手法として、この後説明するデマンド型の乗合タクシーといった手法も取り入れたガイドラインを策定しており、連合自治会へ説明し、昨年度社会実験を実施した。今後検討ののち本格運行を進めていきたい。</p>

議長	<p>トヨタ・モビリティ基金を活用した新しい試みで、今までとは違ったものである。2年間の社会実験であり、今後経過報告もさせていただきたい。</p> <p>他に何かご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>無いようですので、議題2についてお諮りします。</p> <p>原案どおり承認してよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題2について、原案どおり承認といたします。</p> <p>次に、会議次第「4報告事項」の「デマンド型乗合タクシー社会実験運行の結果報告について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p> <p>(報告事項)</p> <p>「デマンド型乗合タクシー社会実験運行の結果報告について」</p>
議長	<p>ただ今、事務局より説明のありました報告事項につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>事業者のアンケート結果について、1メーター料金で人件費の確保が難しく、乗務員を確保しづらいという意見があり、最低保証する制度を構築しない限りは、タクシー会社は手を挙げづらいと思う。制度体制に取り組む予定はあるのか。</p>
事務局	<p>費用面を含め安定して運行できる取り組みが必要であると考えている。地域によって、タクシー事業者がない地域もあり、柔軟に対応する必要がある。今回は初めてのデマンド型乗合タクシーの運行社会実験であり、ガイドラインに示している範囲においてどの程度可能かどうかを踏まえ、柔軟に考えていきたい。</p>

委員	公共交通に対する補助金は、地域の人々を支えるための支出と思われる。事業者としてサービス改善に繋げられる投資のための資金になると思われる。
委員	アンケート結果にもあったように、今は車に乗れるから利用しないとの声もあった。自分で運転ができる間に公共交通を利用するという習慣を生活の中に持つためにはどうしたらよいかを考えてほしい。
議長	福祉の観点からも高齢化が進み、公共交通を利用するには歩くことも大切であると市長も考えている。姫路市として関係部局と連携し、委員の意見を参考に市民へ啓発していきたい。
議長	他に何かご意見・ご質問はございませんか。 無いようですので、報告事項は以上となります。 次に、会議次第「5その他」となります。本日は、委員の皆様にお集まり頂いておりますので、この際、何かご意見・ご質問等が有りましたら、ご発言をお願いします。
事務局	6月18日関係閣僚会議において、未就学児等及び高齢運転者の緊急安全対策が決定された。公共交通の利用を促すために、公共交通機関の柔軟な活用としてタクシーの相乗り、定額タクシー、自家用有償運送の円滑化、介護サービス等輸送サービスとの連携強化、スクールバス等への混乗等が重要とされている。国の緊急対策やガイドライン・指針を示しながら、柔軟な活用に視点を置き、各事業者と相談したい。
議長	委員の皆様には、活発なご意見を賜り、ありがとうございました。 以上で、本日の会議を終了し、事務局に進行をお返しします。
司会	委員の皆様におかれましては、熱心にご審議頂きまして、ありがとうございました。なお、本日の審議結果に基づきまして、必要な手続等を進めて参りたいと思います。 それでは、以上をもちまして第8回 姫路市地域公共交通会議 陸運分科会を

終了とさせていただきます。

本日は、委員の皆様のご協力を持ちまして、円滑に会議を進行することができました。誠に、ありがとうございました。